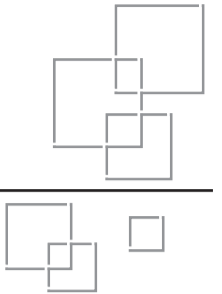


6月定例会では、6月14日から16日にかけて19人の議員が一般質問を行いました。紙面の都合により、質問と答弁の要旨を1人1問ずつ紹介します。

なお、一般質問の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただけます。

また、定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや各市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで9月下旬からご覧いただけます。



飲食店支援について



創政クラブ 松川 翼

議員 コロナ禍において、飲食店が集客確保を図るには、県の「ストップコロナ! 対策認定制度」の認定を受け、安心・安全をPRすることが有効と考えますが、市内の認定件数を伺います。

産業環境部長 令和2年度の認定件数は567件です。

議員 認定を受けるには、感染症対策ガイドラインに沿った対策の実施が必要ですが、本市の商店リフォーム支援事業補助金を活用し、アクリル板等の備品を購入することは可能か伺います。

産業環境部長 リフォーム工事を伴わない、アクリル板等の備品購入のみの場合には、対象外となります。

議員 先日創政クラブとして要望書を提出し、店舗における感染リスク軽減のためのアクリル板、空気清浄機等の備品購入費に対する助成制度の構築について要望しましたが、この件について市長の所見を伺います。

市長 提案いただいたとおり、感染症

対策として有効である備品の購入費については、助成するべきだと思いますので、補助の実施を決定しました。



議員 群馬クレインサンダーズと連携し、市内飲食店を対象としたグルメスタンプラリーを実施することで、観光消費の拡大や飲食店支援が期待できると考えますが、所見を伺います。

市長 サンダーズがB1リーグに昇格しましたので、関係人口・交流人口の増加により、非常に有効な事業であると思います。今後、商工会議所等と協議を進めていきたいと思っています。

■その他の質問

・学校教育における水泳の指導について



固定資産税の今後の取り組みについて



創政クラブ 松浦 武志

議員 固定資産税の概要と本市における現状について伺います。

総務部長 固定資産税は土地、家屋、償却資産を課税対象とし、極端な変動がなく、安定性に優れた基幹税です。本市では令和3年度当初予算において、市税収入の48.9%を占めています。



議員 輸送機器関連産業を基幹産業とする本市では、固定資産税に占める償却資産の割合の高さが特徴的であると考えます。償却資産への課税にあたり、課税客体を把握するための取り組みについて伺います。

総務部長 課税客体の正確な把握のため、国税資料の閲覧、法人の設立・開設

届出書類の確認など、さまざまな方法で情報収集を行っています。また、2年度は農業経営者宛てに申告の案内を送付するなどの取り組みを実施しました。

議員 未申告の事業者に対しては、実地調査などの手法も必要であると思いますが、実施状況について伺います。

総務部長 申告指導に応じない事業者等を対象として、2年度は47件実施しました。今後も他の調査方法と組み合わせて、必要となる事案については実地調査を実施したいと考えています。

議員 行政サービスを持続可能なものとするために、産業都市としての本市における固定資産税の安定的な確保に向けた取り組みについて、まちづくりの観点も含めて、市長の所見を伺います。

市長 固定資産税はまちづくりの根幹を成す非常に重要な税目です。私たちの生活を守るために、今後も適正かつ公平な課税の実現を目指していきたいと思っています。



学校給食の充実について



創政クラブ 板橋 明

議員 県内の公立小中学校の中で、学校給食未実施校が3校あり、そのうちの1つが市立太田中学校です。開校当初から未実施である理由について伺います。



教育部長 市立太田中学校の特色である中高一貫教育の推進にあたり、高校の校時表と合わせる必要があるため、学校給食が未実施となっています。

議員 高校の校時表と合わせるために、給食時間の確保ができないとのことですが、関東の公立中高一貫校で給食を実施している中学校の給食時間は、市立太田中学校と同じ45分です。給食の調理方法など実施状況について調査する必要があると考えますが、所見を伺います。

教育部長 今後、他校の状況などを調べていきたいと思っています。

議員 市立の小中学校において、給食の実施は公平であるべきと考えますが、教育長の所見を伺います。

教育部長 市立太田中学校は高校と連携し、他にない特色ある教育活動を実践することで、成果を上げています。給食を提供できるのが理想ですが、中高一貫校の理念を理解いただき、特色ある教育活動を推進していきたいと思っています。

議員 市立太田中学校の給食未実施について、高校に合わせるのではなく、小中学校は給食を行うという学校給食法に従い、市立太田高校が中学校とともに給食を始めることについて、所見を伺います。

市長 現状では、課題が多く難しいと考えますが、委員会等で具体的な提案をいただければと思います。

■その他の質問

・市有施設の自動販売機設置の取扱いについて



本市におけるインクルーシブ公園の設置及びお年寄りが利用できる健康遊具公園について



太田クラブ 中村 和正

議員 障がいの有無や年齢等によらず誰もが一緒に遊べるインクルーシブ公園が各地で増えています。行政は市民ニーズに合わせて認識をアップデートしていく必要があり、今後の公園整備にはこのインクルーシブの考え方が求められると考えます。障がい者へのスポーツや遊びの機会の提供について所見を伺います。



福祉子ども部長 障害者基本法では、全ての国民が障がいの有無によって分け隔てられることなく共生する社会の実現等の目的がうたわれています。スポーツや遊びにおいても、誰もが共に楽しめるインクルーシブの考え方は重要と考えます。

議員 運動公園内の新市民体育館建

設に係る補正予算による周辺整備の計画について伺います。

文化スポーツ部長 児童遊園等の整備費用は含まれていません。しかし、各施設の老朽化が進んでいますので、新市民体育館建設後の利用者の動線を考慮しつつ、運動公園全体を整備すべきと考えます。

議員 新市民体育館の建設に合わせて、児童遊園を北関東初のインクルーシブ公園として整備し、また健康遊具を集約した広場を造ることで、名実ともに関東随一の運動公園を目指していただきたいと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 誰もが一緒に使える公園を意識的につくるには運動公園が最適地だと思います。利用者数の見込みや希望を調査した上で、全体の整備を前向きに計画していきたいと考えます。

■その他の質問

・ドクターカー専用車の導入について
・バスターミナルおたエリアの賑わいの創出について